

# 県高P連広報

発行所  
新潟県高等学校  
PTA連合会  
新潟市中央区新光町10-3  
技術士センタービルII-701  
TEL (025) 384-8244  
FAX (025) 384-8288  
印刷所  
株小林印刷所



## 「保護者お断り」となる前に

新潟県高等学校PTA連合会

副会長 土田直久

(長岡高等学校教師会長)

日頃は各校PTA活動にご尽力いただき、また県高P連の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度は学校行事・部活動等が従前に戻りつつあり、高校生の成長を実感された場面も多数あったことと存じます。ただ悩ましい課題が再び表出したようにも思います。以下、体育祭・文化祭とも同日程だった近隣校と長岡高校(長高と略記、括弧内は以下同様)の事例を記します。

両校近くに大型商業施設(SC)があります。大学生の長女在学中より行事案内には都度「SC内に駐車せず公共交通機関等の利用を」と注記されていました。9月文化祭数日前、長高から電話連絡がありました。「近隣校と連携し、長岡地域振興局庁舎裏駐車場を借り、そこへの駐車を書面にて案内する」「SC内に外部委託数名を配置し、誘導する」旨でした。後日伺ったら、6月平日の両校体育祭後、SCより激しい剣幕でお叱りを受けていたそうです。そこで文化祭を控え

校の事前協議で先述の対策、費用折半での対応を決めた、とのことでした。

そんな経緯もあり土曜昼前、周辺を歩き回ってみました。残暑厳しい折、SC内で案内を掲げた方々が立っておられました。振興局庁舎裏では先生方が駐車場入口で誘導されていました。大半の保護者は案内どおり駐車されていました。でもSC内に駐車し、文化祭に向かう方々が両手の数ほど見受けられました。

似た事例は各高校でもあるでしょう。もし近隣の店長だとしたら、断りなく停める車を容認できるでしょうか？

体育祭・文化祭とも多数来場されていたので来年も:と思う反面、先的狀況が続けば「学校行事は生徒だけで」とコロナ禍に逆戻りする懸念は拭えません。これから卒業式、新年度を迎えます。近隣との軋轢ゆえに「保護者お断り」とならないよう、銘々が学校・地域への想像力を働かせ、節度ある行動を続けていただくことを切に願います。

## 「有言実行」

糸魚川高校保護者

加藤 奈美

高校2年生の夏、学校から帰って来るなり「弁論大会に出る。そして鹿兒島に行く。」と私達家族は弁論で何？鹿兒島に行く？わからない事だらけでしたが、話を聞いてみると、とうきょう総文2022に出場した先輩に誘われた事、地域活動に参加した経験を話す事聞いた。人前で話すのが得意な息子ですが、さすがに弁論は初めて、先生との練習時間も少ない中で頑張った。

そして県大会で最優秀賞を獲得し全国大会、鹿兒島行きを本当に決めた。高3の夏、鹿兒島へ出発する息子を家族で見送った。

## 「涙の先に栄光」

開志学園高校保護者

川村 豊

まだ未就学児の頃、泣きながらトレーニングに励み、小学生の時には「弱い人を守る強い体と心を持った人になる」と将来の夢を掲げた子が、今では日の丸を背負う選手になったことを嬉しく思います。

高校生活では、学校までの片道二時間の道のりを三年間休むことなく通い続け、学業と部活動を両立し、見事、高校五冠を達成しました。毎日、自分を追い込み練習に励み、日々最大限の努力を重ねていました。また、多くのメディアからも注目され、周りの期待を感じながらもプレッシャーに打ち勝つ姿は、ボクシ



大会が始まり自分の発表が終わった後に電話が来た。少し失敗した所もあったが、とても楽しかったと後は結果を待つだけだと、そして閉会式後の電話で、優秀賞4位だと聞いた時は、驚きで買い物中だというのも忘れスーパで叫んでしまった。

そして鹿兒島から帰って来た息子は、大きく成長していた。この貴重な経験を今後の人生に活かしてほしい。

最後に、ご指導いただいた先生、応援していただいた友達、関係者の皆様に感謝申し上げます。



ングの技術だけでなく、精神的にも成長していることを実感させてくれました。この三年間で培われた経験は、必ず今後の人生の糧になるはずです。この経験を活かして、これからも弱い人間を守る強く立派な人間に成長してください。いつか夢である日本を代表する選手になることを私たち家族は応援していきます。

最後にこれまでご指導いただいた監督、先生方をはじめ、全ての関係者の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

地区研修会

新潟地区 万代高校

PTA会長 片桐 康正



十一月二十二日(水)新潟県映ホテルで四十名の皆様から御参加いただき開催しました。始めに県高P連副会長の、新潟中央高校小竹校長先生から本年度の大会等の御報告と、新潟市内で開催された北信越大会運営について御礼が述べられました。また、次年度の大会等の概要、P

TA安全互助会について御説明いただきました。研修会では新潟県教育庁生徒指導課はじめ対策室長高松様から、例も交えていじめの定義の御説明、学校と家庭の連携、自殺防止として子どもの変化の捉え方や声かけの例等をお話しいただきました。

続いて創作表現集団D-Sour主宰や新潟市地域教育コーディネーター等を務める司山園美様から「やってみたいが実現する社会・学校・地域」と題して御講演いただきました。「やったことがない、やってみよう」を続けていたら御自身のやりたかったことが形になってきたこと、御自身と万代高校PTAが連携、実施した生徒の学習機会「異文化交流会」等についてお話しいただきました。研修会後は、四年ぶりの開催となる教育懇談会では、研修会内容の考察や情報交換が活発となり、いずれの会も有意義なものとなりました。

新発田・村上地区

中条高校

PTA会長 伊與部 真理子

下越北地区高等学校PTA指導者研修会は、十一月二十日(月)、胎内市産業文化会館会議室を会場に開催しました。当日は、約四十名の方々にご参加いただきました。

県高P連の活動報告等の後、新潟青陵大学大学院教授の確井真史様から「愛とやる気を育てる心理学」輝く人生のために必要なこと」と題してご講演いただきました。自己肯定感を育てる関わり方こそが、高い目標を自分で決めて努力する人を育てる根本であり、自己受容できる姿勢が身につくことで、人に感謝し幸せな人生を送ることができるというお話が、大変心に響きました。

巻地区

巻総合高校

PTA会長 中條 雄一



巻地区高等学校PTA研修会は十一月二九日(水)新潟市巻地区公民館にて開催されました。当日は四校から三五名にご参加いただきました。はじめに県高等学校PTA連合会の今年度の活動状況、本県で実施された北信越大会や宮城県全国大会の報告をさせていただきました。次に県教育庁生徒指導課

副参事指導主事の庭田雅範様から「いじめ等の防止及び自殺予防について」と題してご講話いただきました。

後半は各校活動状況の報告の後に株式会社ホイミ代表取締役の齋藤桂様からご講演いただきました。巻地区出身で様々な経験を経て現在はイベント会社とお米作りを兼業。独自のパイプで有名どころのお笑い芸人や嘶家が出演するライブを巻文化会館で主催。マキエキマエという施設を運営し、JR巻駅前のタクシー会社跡地に日替わりでキッチンカーを誘致するなど巻地区の活性化への熱い想いをお話しいただきました。教育懇談会は、感染症の感染防止の観点から今年度も中止となった点は残念でしたが、各校のご協力のもと充実した研修会を開催できたことを改めて感謝申し上げます。

新潟地区

新潟高校

親師会長 石本 岳

十一月二十二日(水)新潟市秋葉区の新津地域交流センターを会場に新潟地区内、七高校三十八名の参加者で研修会が行われました。

開会の後、県教育庁生徒指導課はじめ対策室 指導主事 山田茂様より、学校と保護者が連携して、いじめ等の防止および自殺防止を取り組む重要性について、お話をいただきました。

次に、「深めよう 絆にいがた県民会議」の座長 橋本定男様より「子どもとかわる原則といじめ問題」と題して講演をいただきました。実践者としての学校現場での豊富な経験を踏まえ、さらに大学における研究者としての知見を交え

新発田・村上地区

中条高校

PTA会長 伊與部 真理子



研修会では、四年ぶりの開催となる教育懇談会では、研修会内容の考察や情報交換が活発となり、いずれの会も有意義なものとなりました。

最後に、各校から活動報告をしていただき、様々な取組をお聞きできました。各校のPTA会長、役員、教職員の皆様のご支援のおかげで充実した研修会となりましたことに、深く感謝申し上げます。

### 長岡地区 長岡明德高校

教頭 鈴木 和也

十一月九日(木)アトリウム長岡にて、長岡地区PTA指導者研修会を開催いたしました。

県高P連副会長、長岡高校親師会長の土田直久様からご挨拶と全国高P連大会のご報告をいただきました。

続いて、県教育庁生徒指導課はじめ対策室長の高松利治様から、「はじめ等



の防止及び自殺防止について」をテーマに、「ご講演をいただきました。学校の「はじめ」対応や子どもとの関わりについて、具体的事例をもとに大変わかりやすくご説明いただきました。

後半は、長岡西陵スポーツクラブ代表の石坂陽之介様から「もったいない半生」から考えるこれからの世代にとつての「起業者精神」と題して、ご講演いただきました。ご自身の今までのキャリアもふまえ、「起業者精神」「先見性×戦略性×行動力」と考え、現在取り組んでいることや今求められている力について熱く語っていただきました。

教育懇談会も四年ぶりに開催することができ、大変有意義な情報交換を行うことができました。ご参加いただきました皆様にご感謝申し上げます。

### 魚沼地区 十日町高校

PTA会長 宮沢 徹也

魚沼地区高等学校PTA研修会は、十一月十七日(金)ラボート十日町を会場に開催されました。

はじめに県高P連の本年度の活動計画及び報告を受けた後、県教育庁生徒指導課支援・相談指導主事阿部茂雄様から、はじめ等の防止及び自殺防止についてご講演をいただきました。

研究協議では、堀之内高等学校、塩沢商工高等学校、津南中等教育学校の取組について発表がありました。今後のPTA活動において非常に参考になるお話を聴かせていただきました。

後半の部ではwomen farmers Japanese 株式会社代表取締役



の佐藤可奈子様からご講演をいただきました。さつまいもに特化した商品(干し芋やベイクトスリートポトなど)を自社で生産・加工・販売するとともに、チーム一丸となつて生産組合や加工所、コミュニティ運営において新しいことを取り入れながらチャレンジしていることをお聞きし、農業の魅力や素晴らしさなど、多くを学ばせていただきました。

皆さんのご協力により、大変有意義な研修会となりましたことに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 三条・燕・加茂地区 加茂高校

PTA会長 川田 勝巳

十一月十六日(木)、加茂市産業センターで、七校三十九名が参加し、開催されました。



はじめに、県高P連理事、三条東高校PTA会長の早川沙友理様より本年度の活動概要と令和六年度の活動計画について説明がなされました。

### 柏崎地区 新潟県立大学附属

PTA会長 樋口 美由紀

柏崎地区高等学校PTA研修会は、十一月二十日(月)、ソフィアセンターを会場に開催されました。

地区高P連会長九里悠輝様からのご挨拶に続き、県高P連の活動報告をしていただきました。

次に、新潟県教育庁生徒指導課副参事指導主事の加納直恵様からご講話をいただき、子どもからのSOSを見逃さないためには、コミュニケーションが大切であると教えていただきました。

研究発表として私より新潟産業大学附属高校の活動報告をしました。附属高校の沿革やPTA活動、諸活動の実績をお話した後、附属高校生・卒業生へのイン



参事・指導主事の加納直恵様から「はじめ等の防止及び自殺防止について」との標題でご講話いただきました。はじめの定義やSOSを出す子どもへの対応事例について等、詳細なご説明をいただきました。

各学校の活動状況の報告後、教育講演会が行なわれ、「教育とAI」環境変化の中での活用のポイント」という標題で、株式会社ベネッセコーポレーションの大森理史様から生成AIと教育との関わりを中心に、ご講演いただきました。

研修会後は、四年ぶりとなる教育懇談会も開催され、各校の親睦を深めつつ、盛会の内に、半日間の日程を無事に終えることができました。開催にあたり、ご協力いただいた各校の関係者の皆様には深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

タビユー動画を視聴していただきました。動画については非常に好評でした。

最後に、加茂暁星学園の草間俊之様より「教育を巡る諸問題―家庭への期待」という演題でご講演をいただきました。教育における諸問題について、草間様のご経験に基づいた示唆に富んだお話を聞くことができました。「本当に伝えたい

事は同じ言葉で何度も伝えてほしい」というお言葉が心に残っています。

ご参加いただいた皆様のご支援のおかげで非常に有意義な研修会となりました。改めて感謝申し上げます。

高田・直江津地区

糸魚川白嶺高校

PTA会長 高野 直行

去る十一月十七日(金)、高田・直江津地区研修会をホテルハイマートにて開催いたしました。各校から多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

はじめに、県高P連水口副会長様からご挨拶と県高P連の活動報告をいただきました。続いて北信越地区研究大会新潟大会の報告を糸魚川白嶺高校から、全国高P連大会宮城大会の報告を高田商業高校から行いました。研究協議では上越総合技術高校から「PTA活動の取り組み」と題して、発表を行っていただきました。続いて、講話として県教育庁生徒指導課指導主事の山田茂様より「いじめ等の

防止及び自殺防止について」と題して、様々な事例を交えながらお話しいただきました。

最後に、東京2020オリンピック空手男子組手監督の林晃様から「ピンチはチャンスなり」空手道そして東京2020オリンピックから学んだこと」と題し、競技者として、また、指導者として世界で戦ってきた御自身の経験をお話しいただきました。

研修会終了後は、教育懇談会を盛大に実施し、大変有意義な時間を過ごすことができました。また、来年も盛大に開催されることを祈念いたします。



佐渡地区

佐渡中等教育学校

PTA会長 佐藤 浩司

佐渡地区研修会が十一月十七日にホテル志い屋にて行われ、島内5校から約60名の皆様に参加していただきました。

まず、県教育庁生徒指導課いじめ対策室長高松利治様より「いじめ等の防止及び自殺防止について」の講話をいただきました。いじめの定義や学校での対策、子供が出しているSOSのサインやその場合の関わり方を学ぶことができました。



続いて佐渡総合高校による「親子関係に役立つカウンセリングゲーム

最後、新潟大学佐渡自然共生科学センター准教授豊田光世様より「佐渡島で展開する探究的な学び」と題して「子供の哲学(通称P4c)」についてご講演いただきました。子供自身が対話を通じて考えることで学ぶことや自発的に行動できるようになっていくことについて学びました。

この研修会を通じて各校がそれぞれ学びを持ち帰り、さらに連携を深めてより学びが深まる環境になれば幸いです。

県高P連総会・安全互助会総会開催予告

五月三十一日(金) イタリア軒

日時 令和六年五月三十一日(金) 十二時四十分〜十七時

会場 ホテルイタリア軒(新潟市)

例年どおりの日程と内容で実施する予定です。提案発表校は、次の四校です。

- 第一発表 三条商業高校
- 第二発表 直江津中等教育学校
- 第三発表 吉田高校
- 第四発表 新潟商業高校

北信越地区高P連研究大会開催予告

令和六年七月五日(金)〜六日(土)

会場 ホクト文化ホール(長野県民文化会館)

(長野市若里一―一二)

ホテル国際21

(長野市泉町五七六)

大会テーマ 全国大会に準ずる

新型コロナウイルス感染拡大が収束に向かいつつある中、ようやく以前のよう

な規模の大会になりそうです。県高P連

総会での提案発表校四校のうち、三条商

業高校は壇上発表、他の三校には、北信

越地区高P連長野大会資料で誌上発表を

していただきます。各単Pからの申込み

は、五月初旬の予定です。多数の参加を

全国高P連大会開催予告

令和六年度は茨城県で開催

期日 令和六年八月二十二日(木)〜

会場 アタストリアみとアリーナ(水戸市緑町二丁目二十)

大会テーマ 「歴史の町で変革を!!」 サブテーマ 「新たな時代が目に入らぬか」 令和六年度の全国大会は、現地参加とオンライン参加のハイブリッド方式により、水戸市にて開催される予定です。幕末の動乱期に、水戸学は新たな時代明治維新に大きな影響を与えました。その水戸の地で、PTAの新たな取り組みに向けて話し合える機会を持つことができるのは、意義あることだと思います。新潟県の各単Pからの参加申込みは、六月初旬の予定です。多数の参加をお待ちしています。

【調査広報委員会委員】

- ◎新潟工業高校P会長 鶴瀬 建二
- 新潟高校P会長 丸山 智
- 新潟南高校P会長 椎谷 俊浩
- 新潟西高校P会長 土田 貴子
- 新潟高校長 小川 正樹
- 新潟北高校長 星 達哉
- 新潟商業高校長 新畑 智嗣
- 高志中等教育学校長 灰野 仁
- 新潟向陽高校長 岩崎 啓
- ◎委員長 (事務局所在地) 新潟向陽高等学校
- 新潟市江南区亀田向陽四―三―一 TEL〇二五(三八二) 三三二二 FAX〇二五(三八二) 一八三二

編集後記

「コロナ禍」の「禍」は「災い」を意味する言葉ですが、「災い」を転じて福となす」という言葉もあります。働き方改革や教育におけるデジタル化の進展は、新型コロナウイルスがもたらした功績の一つと言っても過言ではないかもしれません。「コロナ禍」を乗り越えたPTAはどのように進化していくのでしょうか。

調査広報委員 丸山 智(新潟P会長)